

函館市教育大綱（案）に対するパブリックコメント（意見公募） 手続きの実施結果について

案件名	函館市教育大綱（案）
募集期間	平成27年9月25日（金）～平成27年10月26日（月）
担当課	教育委員会生涯学習部管理課
提出意見者数	団体 1団体（19件）

○ 函館市教育大綱（案）に対する意見と市の考え方

※ 「意見の概要」については、原文を要約して載せています。

No.	意見の概要	市の考え方
	<p>◆ 施策の方向 ◆</p> <p>1 子ども・子育て支援の充実（P2～3） （10件）</p> <p>(1) 地域における子育て支援</p>	
1	<p>○ 町会会館や廃校となった空き校舎などを有効活用し、そこで地域住民や大学生などの協力を得て、子どもに対する学習支援や日本の伝統文化である昔遊びの提供などを行うべきである。</p> <p>このような取組みを通じて、地域の年長者から子育ての知恵や家庭のしつけなども学ぶことが可能である。</p>	<p>○ 貴重なご意見・ご提言として、参考とさせていただきます。</p>
2	<p>(2) 母子の健康確保と増進</p> <p>○ 幸せな家庭生活が営めるような社会の構築が求められるなか、自治体による積極的な支援が必要である。</p>	<p>○ 妊産婦・乳幼児はもとより、学童期・思春期から成人期に向けた切れ目のない支援を図っていきたいと考えております。</p>
3	<p>(3) 子どもの健やかな成長のための教育環境の整備</p> <p>○ 戦後まもない頃の時代は、学校が一番の平等社会であった。</p> <p>当時と比較して、現代がどれほど自由で規制がなく、犯罪や事故などの被害が増大しているのかを検討するだけでも、各部門にわたり相当の効果が期待できる。</p>	<p>○ 貴重なご意見・ご提言として、参考とさせていただきます。</p>

No.	意見の概要	市の考え方
4	<p>(4) 子育てを支援する生活環境の整備</p> <p>○ 理想は、集落社会の構成であり、同じような住宅に住み、一定規模の事業所に勤め、集落内に生活に必要な商店などを配し、集落内ですべてのことが完了する構造である。</p>	<p>○ 貴重なご意見・ご提言として、参考とさせていただきます。</p>
5	<p>(5) 仕事と生活の調和の実現</p> <p>○ 子育ては基本的には、両親の責任で実行し、自治体が支援するといった図式が一般的である。</p>	<p>○ 子育てについての第一義的責任は保護者が有しておりますが、核家族化・少子化の進行、共働き家庭の増加などにより、とかく孤立しがちな子育て家庭に対し、相談窓口の拡充や保育サービスの充実をはじめとする各種支援を図っていきたいと考えております。</p>
6	<p>○ 共働きの職場環境では、職場内もしくは職場の近隣に託児室を整備し、親による見守りがしやすい方が良い。</p>	<p>○ 貴重なご意見・ご提言として、参考とさせていただきます。</p>
7	<p>(6) 特別な援助を要する家庭への支援</p> <p>○ 子育て家庭が孤立しないようにするためには、地域の住民間において、互いに日常から心を通わせるなど友好関係を築くことが必要である。</p>	<p>○ 貴重なご意見・ご提言として、参考とさせていただきます。</p>
8	<p>(7) 母子家庭および父子家庭の自立支援</p> <p>○ 自治体の財政負担軽減が目的である。</p> <p>○ 母子家庭の自立については、同じ境遇にある母親たちが協力して起業できるような仕組みがあれば、種々のハラスメントは避けられることになるし、職場内での育児も可能となる。</p> <p>このような仕組みづくりを含めて、自治体が支援すべきと考える。</p>	<p>○ 貴重なご意見・ご提言として、参考とさせていただきます。</p>

No.	意見の概要	市の考え方
10	<p>(8) 子育てに伴う経済的負担の軽減</p> <p>○ 子どもが成長するなかで、故郷に愛着心を持てるような施策で、将来を見据えた支援をすること。</p>	<p>○ 子育て家庭を取り巻く状況が厳しいことから、各種手当や助成制度をはじめとする経済的支援の充実を図っていききたいと考えております。</p>
11	<p>2 学校教育の充実 (P3~4) (6件)</p> <p>(1) 確かな学力の定着</p> <p>○ 近年の著しい社会変化の中で、子どもが自発的に勉学に取り組めるようにするとともに、子どもたちが平等に過ごせるような教育現場の改革が必要である。</p> <p>(2) 豊かな心の育成</p> <p>12 ○ 学校や家庭、地域の中で、善良な人間を育むべきであると考えます。</p> <p>(3) 健やかな体の育成</p> <p>13 ○ 科学技術の急速な進歩による体力低下等の社会の中で、家庭、地域、学校が協力して、子どもたちの体力向上に取り組むことが必要であると考えます。</p> <p>(4) 特別支援教育の推進</p> <p>14 ○ 子どもの発達に即した指導教育を行い、各自が切磋琢磨して最良の方法を見出すような取り組みを求める。</p>	<p>○ 基礎・基本をしっかりと身に付けさせるとともに、実社会や実生活の中でそれらを活用できることが大切であり、そのために授業改善の一層の充実を図っていききたいと考えております。</p> <p>○ 子どもたちが、自然に親しむことや、様々な人々とかかわりを持つ中で豊かな心をはぐくみ、社会性を一層養うことができるよう、学校や家庭、地域が協力し、道徳性の育成を図っていききたいと考えております。</p> <p>○ 体力の向上に関する指導や、学校における食育の推進、さらには、安全に関する指導等の充実を図っていききたいと考えております。</p> <p>○ 各学校の校内支援体制を充実させ、全教職員で組織的・協働的な支援に取り組むとともに、関係機関等との連携を図るなど、一人一人を大切に支援に努めていききたいと考えております。</p>

No.	意見の概要	市の考え方
15	<p>(5) 新しい時代を切り拓く教育環境の充実</p> <p>○ ICT機器の導入は必要であるが、教育現場の補助教材として活用し、ICT機器が身体に及ぼす影響を教育すべきと考える。</p>	<p>○ 学校においては、子どもに情報を活用する能力を育成したり、情報通信技術を効果的に活用して分かりやすい授業を実現するため、補助的にICT機器を活用しております。機器の使用に当たっては、情報モラルや健康上の配慮もあわせて指導しております。</p>
16	<p>○ 時代の変化により、少子化が進んでいるが、学校統合は、地域に多大な影響を与えると考えられる。</p>	<p>○ 集団の中で切磋琢磨しながら学習したり、社会性を高めるといふ学校の特質とともに、地域コミュニティの核としての学校の重要性を鑑みながら、学校規模の適正化や配置を進めていきたいと考えております。</p>
17	<p>3 生涯学習の充実 (P4) (3件)</p> <p>(1) 生涯学習の推進</p> <p>○ 生涯学習活動の主たる活動者は、高齢者であることから、町会と連携し、地域毎に身体的負担を考慮した事業の実施が望ましい。</p>	<p>○ 全ての市民が生涯にわたり、自由で主体的な生涯学習活動に取り組むことができるよう、市民ニーズの把握や効果的な事業の実施に努めていきたいと考えております。</p>
18	<p>(2) 文化芸術の振興</p> <p>○ 函館市における文化芸術振興施策の実施にあたっては、地域に根ざした伝統文化などの、函館市に特化した市民の誰もが納得できる事業を期待する。</p>	<p>○ 市民が日常生活において、身近に文化芸術を感じるができるよう、文化芸術振興施策の推進に努めていきたいと考えております。</p>
19	<p>(3) スポーツの振興</p> <p>○ 他人と競い合うのではなく、誰もが参加したくなる「健康運動」や「健康体操」など健全体育的なスポーツの振興を図ることの方が、市民、住民の賛同を得られやすいものとする。</p>	<p>○ 競技スポーツはもとより、それぞれのニーズに応じ誰もが無理なくできる生涯スポーツの推進を図るとともに、環境の整備や機会の充実を図っていきたいと考えております。</p>